

キラリ 热中时间

第37回全国ひらがな・かきかたコンクールで文部科学大臣賞を受賞!

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

揖斐桜子さんは、(一社)全国書写書道教育振興会による『第37回全国ひらがな・かきかたコンクール』で文部科学大臣賞を受賞しました。

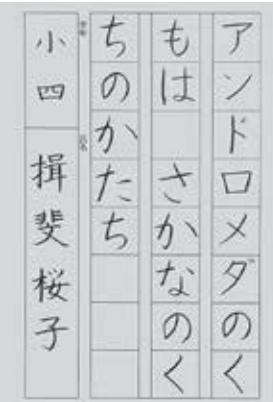
揖斐さんは、小学校1年生の時、埼玉県の硬筆展で学校代表に選ばれた事をきっかけに書道教室に通い始めたといいます。

受賞した感想を聞くと「最初は信じられませんでしたが、実感がだんだんと湧いてきました。」と言い、今回の作品で頑張ったことは「流れるように書く事を意識し、書風を見極めることです。」と話す揖斐さん。書く上で楽しかったことを聞くと「『の』の上がる部分をシュッと書くのが楽しかったです。」と笑顔で話してくれました。また、課題となった文章は、宮沢賢治の『星めぐりの歌』

の一節で、小さい頃に詩を読んだり歌ったりしていたという思い出のある文章とすることもあり、当時を思い出しながら楽しんで書いていたといいます。

今回の受賞までに埼玉県硬筆中央展覧会で県知事賞を受賞するなど、たゆまぬ努力を続けてきた揖斐さんの「たまに苦しい時もあるけれど、練習して自分が成長していくことが好きです。」と話す姿からは、根底にある燃える向上心が努力を続ける源となっていると感じられます。

揖斐さんは、これから目標について「これからも丁寧に字を書くことを心がけ、硬筆や書き初めでいい作品ができるように努力します。また1位がとれるように頑張りたいです。」と力強く話します。そして、将来の夢である『医者になること』に向かって、向上心を武器に努力を重ね、明るい未来を進んでいきます。



▲受賞した作品(星めぐりの歌/宮沢賢治)

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか
散歩

149 青淵渋沢栄一先生像



▲台座の側面には、解説版があったよ。銅像の由来や、栄一さんのこと、青森県にこの銅像を建立して、栄一さんの書生を務めたこともある杉本行雄さんについて知ることができるみたい!



▲青森県にあった時の栄一さんの銅像の様子だよ。

▲ふっかちゃんもタキシードでビシッと決めて、栄一さんの銅像と一緒に写真を撮ったよ。この像の高さはなんと台座も含めて約7メートル! ふっかちゃんと比べてもっと大きいねえ。

ふっかちゃんの
つぶやき
あけましておめでとう!
しげただくんの愛馬『三日月』のように駆け抜けて、なんでもウマ~くいく1年になりますよ
うにY(o=ω=)Y
ふがや
あるある
深谷市



桜ヶ丘小学校4年
揖斐桜子さん

重ねた努力を
文字に込めて

男女共同参画 情報コーナー

事業所に『男女共同参画推進員』を設置しませんか

深谷市では、市内事業所における男女共同参画を推進するため、各事業所に『男女共同参画推進員』の設置をお願いしています。男女共同参画推進員には、市や県が行っている『女性活躍』や『ワーク・ライフ・バランス』に関するセミナーのお知らせなど、男女共同参画に関する情報を提供しています。令和7年4月1日現在、市内で149の事業所が男女共同参画推進員を設置しています。

『深谷市女性活躍等推進事業所認証制度』を推進しています

深谷市では、女性の活躍や男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる市内事業所を『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証する制度を設けています。認証事業所になると、広告や名刺などに、認証事業所のシンボルマークを表示できるため、事業所のイメージアップにつながります。

併せて、これらの事業所を広報やホームページで周知するなどの支援も行っていますので、興味のある事業所のかたは、問い合わせ先へご連絡ください。

これまでに『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証した17事業所

深谷赤十字病院 KYB株式会社 UACJ深谷製造所 株式会社LIXILサンウェーブ製作所深谷工場 社会福祉法人両宜会特別養護老人ホームひびき 医療法人社団優慈会佐々木病院 たつみ印刷株式会社 熊谷工場 古郡ホーム株式会社 社会福祉法人埼玉のぞみの園 リケンテクノス株式会社埼玉工場 パーカーアサヒ株式会社 医療法人好文会 株式会社大慶堂 三菱電機ホーム機器株式会社 社会福祉法人邑元会あかつき 株式会社モテギ 株式会社ホームズ訪問看護



▲『女性活躍等推進事業所』
認証シンボルマーク



本郷小学校2年
新 柚乃さん



おもいやりの言ば

わたしは、学校でさん数のべんきょうをしていました。けれど、と中でわからないもんだいが出てきました。すると、まえのせきの友だちが、「このもんだいは、こうやってとくんだよ。」とおしえてくれました。わたしは、「おしえてくれてありがとう。」と言って、もんだいをといていました。友だちがおしえてくれたおかげで、けいさんもできるようになり、さん数のべんきょうが大きになりました。

わたしは、友だちのおもいやりや言ばには、まわりの人をうれしい気持ちにする力があるなどおもいました。友だちがしてくれたように、わたしもだれかがこまっていたときには、やさしくおしえてあげたり、「どうしたの。大じょうぶ。」

と、声をかけたりしたいです。そして、みんなでやさしい言ばづかいをしたり、はげましあったりすれば、よりよいクラスや学校になるとおもいます。

これからも、人けんやおもいやりを大せつにして、友だちやまわりの人と生活していきたいです。



※学校・学年は受賞当時のものです